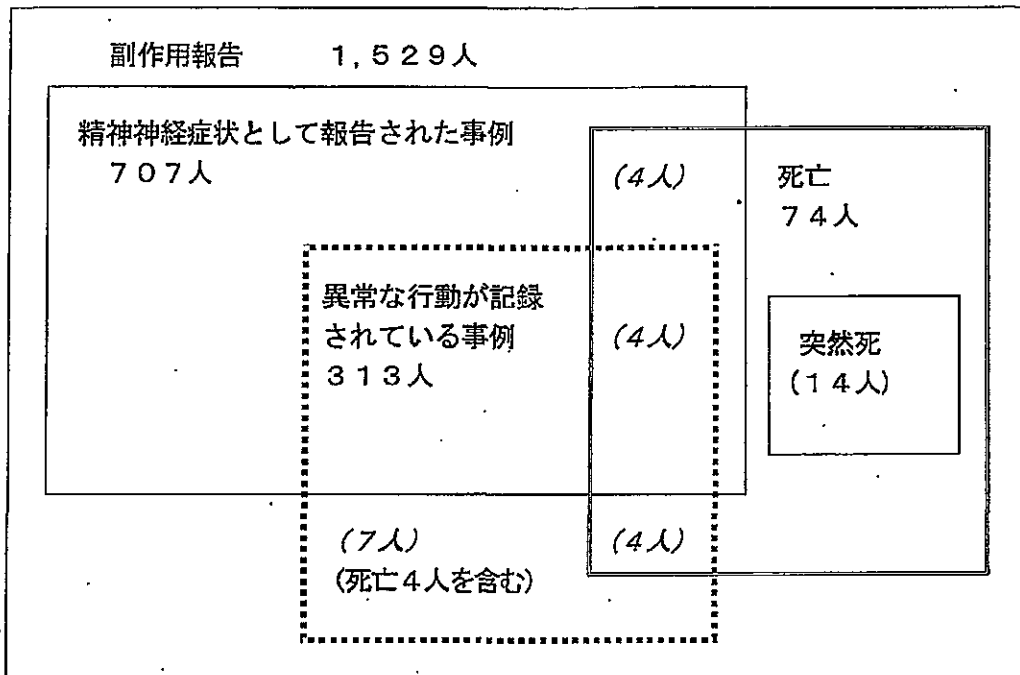


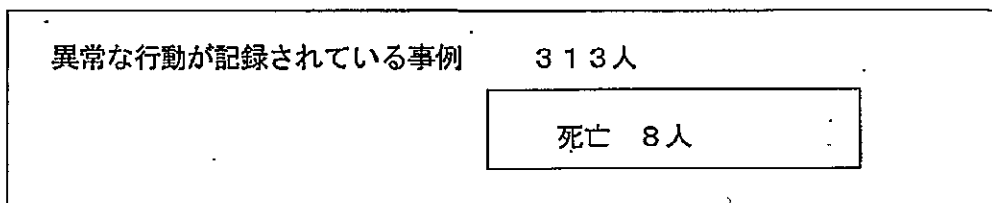
タミフルの副作用報告の精査について（その5）

1. 現段階における精査の状況（平成20年3月31日現在）

(1) 副作用報告の全体像

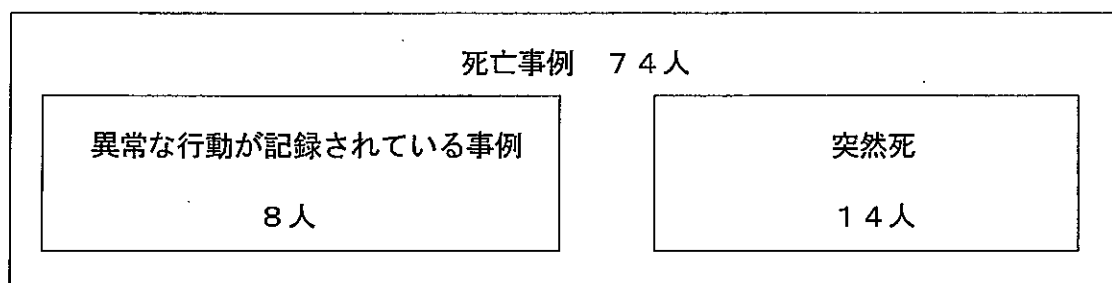


(2) 異常な行動が記録されている事例



	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計
事例数	116	150	8	5	5	7	4	6	4	4	4	313
割合 (%)	37.1	47.9	2.6	1.6	1.6	2.2	1.3	1.9	1.3	1.3	1.3	100.0

(3) タミフルとの関連を報告された死亡事例



中外製薬から副作用報告されていない死亡事例 6人

治験期間中の事例1人、論文等の研究報告に記載のあった事例4人、中外製薬がタミフルと関係がないとして副作用報告として報告しなかった事例1人

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計
事例数	11	5	6	10	4	10	8	7	9	4	0	74
割合 (%)	14.9	6.8	8.1	13.5	5.4	13.5	10.8	9.5	12.2	5.4	0.0	100.0

(参考)

- 平成20年3月31日時点の死亡事例は、平成19年9月30日時点の死亡事例71人に、3月31日までに中外製薬(株)から新たに報告された3人を加えた74人である。
- 平成20年3月31日時点の転落・飛びおり事例は、平成19年9月3日時点の10歳代22人(うち死亡4人)、その他6人(うち死亡2人)に、その後に中外製薬(株)から報告された10歳未満1人(平成19年12月25日の安全対策調査会において、(参考)異常な行動が記録されている事例(平成19年10月1日以降)として公表済み)を加えた、10歳代23人(うち死亡4人)、その他6人(うち死亡2人)である。